

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/07/16

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.57	0.10
JPY/THB	0.2188	-0.0011
USD/JPY	148.88	1.16
EUR/THB	37.77	-0.10
EUR/USD	1.1601	-0.0063
USD/CNH	7.185	0.012
SGD/THB	25.32	0.01
AUD/THB	21.22	-0.04
USD/INR	85.82	-0.18
USD Index	98.62	0.53

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.401	-0.022
10Y (THB)	1.533	-0.023
5Y (USD)	4.041	0.053
10Y (USD)	4.481	0.048

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,336.7	-22.4
WTI (Oil)	66.52	-0.46
Copper	9,645.5	26.5

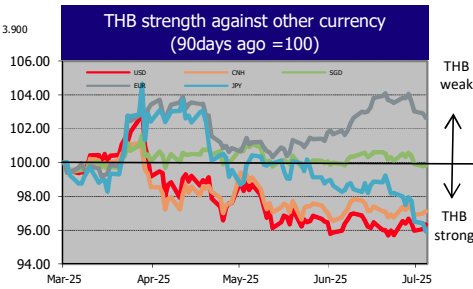
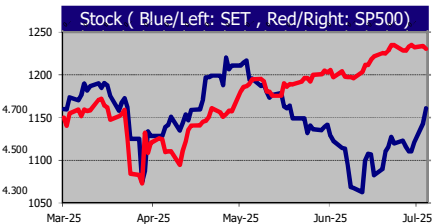
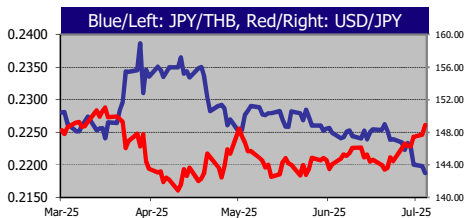
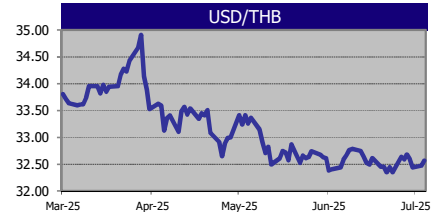
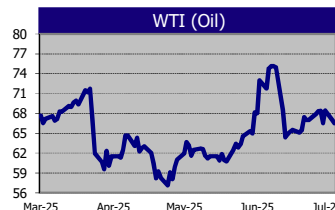
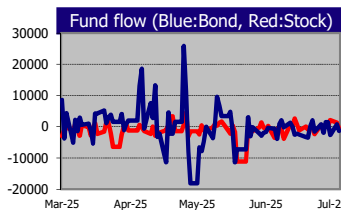
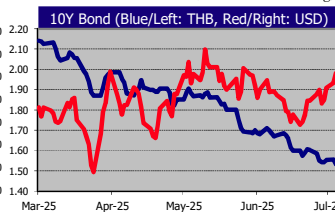
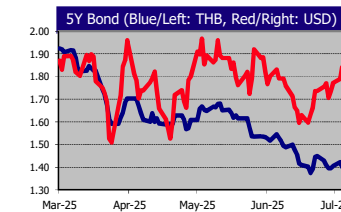
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,161.01	17.70
NIKKEI (JP)	39,678.02	218.40
DOW (US)	44,023.29	-436.36
S&P500 (US)	6,243.76	-24.80
SHCOMP (CN)	3,505.00	-14.65
DAX(GER)	24,060.29	-100.35

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow (593)	-1966.7	
Bond net flow	(1,364)	-2186.0

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパート

昨日15日アジア時間のドルパートは32.40パート台で取引を開始。米関税交渉に関する懸念が高まる中、アジア通貨は総じて軟調に推移。ドルパートも一時32.50パート近辺まで上昇した。その後、次期タイ中銀総裁の指名を延期したとの報道を受け、反落。当初、利下げ積極派とみられるウィタイ政府貯蓄銀行会長を指名するとみられていたが、指名が延期されたことを受けタイパートは上昇した格好。ドルパートは32.40パート近辺まで下落し海外時間へ。海外時間に発表された米CPIの結果は事前予想を小幅に下回る結果となり、一旦はドル売りで反応するも、関税の影響を受けやすい品目で価格上昇の傾向が見られたこと受け、反転上昇。ドルパートは一時32.60近辺まで上昇。その後、小幅に値を戻し32.50パート台でクローズ。

●ドル円その他

昨日のドル円は147円台後半レベルで取引を開始。米CPIの発表を控え値動きは限定的となり、147円台後半で海外時間へ。注目の米6月CPIは上述の通り、予想を下回った一方で、一部品目で価格上昇の傾向が見られた事を受け、一時149円台まで反発。その後も高値圏での推移が続き、148円台後半でクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

昨日発表された米6月CPIは、総合は前月比+0.3%、コアも同+0.2%と市場予想の同+0.3%に届かず、5カ月連続で市場予想を下回りましたが、前年同月比で見ると総合は2.7%(予想:2.6%)、コアは2.9%(予想:2.9%)と若干強い結果となったことを受け、米金利、USD共に上昇。今週は残りの材料として、米6月PPI、小売売上高、本邦参議院選挙が残されていますが、これまで発表された好調な米経済指標、参院選に向けて与党の劣勢見通しからの財政拡張懸念もあり、短期的にはUSDJPYが上昇しやすい地合いにあるかと思われます。

また、昨日朝タイの複数メディアは、ピチャイ財務相が次期総裁候補として政府貯蓄銀行のウィタイ頭取を閣議に提案したと報じましたが、昼頃には一転して閣議決定は翌週に持ち越し、現時点では誰を提案するか明らかにしなかったと報じております。いずれにしても、現時点で次期総裁は閣議承認後、王室承認を経て正式決定され、任期満了を迎えるセタプット総裁の後任として10月1日に就任予定とされています。これまでの言動からウィタイ氏はハト派スタンスとして知られておりますが、米相互関税の影響でタイ経済の成長は25年下半期に大きく下振れする見通しのなか、BOTは現在追加利下げのタイミングを慎重に見極めていことから、ウィタイ氏就任がこのまま進むのか、また、別途波乱があるのか、引き続きパート相場への影響は注視していく必要があります。

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.